

当院の睡眠時無呼吸症候群 の診療と検査

水俣協立病院

川上 義信

睡眠時無呼吸症候群

10秒以上続く無呼吸が
一晩の睡眠中(7時間)に**30回以上**、
または、**睡眠1時間に平均5回以上**
起こるもの。

睡眠時無呼吸症候群の特徴

- 睡眠中、いびきをかく
- 睡眠中、繰り返し呼吸が止まる
- 何時間寝ても熟睡感がなく、昼間眠たい
- 朝、目が覚めたとき頭が重い・痛い
- 夜中、2回以上トイレに行く
- 寝相が悪い
- 眠気や居眠りで、仕事の能率が上がらない
- 車の運転中も眠気を我慢できない
- 居眠り運転のため事故を起こしかけた

睡眠時無呼吸症候群診療の流れ

1. 外来受診

問診、簡易型PSG検査の実施・予約

または睡眠ポリソムノグラフィー(PSG)検査予約

2. 睡眠ポリソムノグラフィー(PSG)検査

18:30までに来院下さい。病室へご案内します。

19:30～ 電極などの装着。

21:00 記録開始。

翌朝6:00 記録終了。電極を取り外した後、帰宅。

3. 結果説明(検査から約2週間後)

4. 治療開始

簡易型PSG検査

- 鼻と指、腕に装着するだけの簡単な検査で、自宅でも検査が可能です。
- あくまでも簡易な検査ですので、結果次第では精密なPSG検査が必要となります。



PSG検査

簡易検査とは違い、たくさんのセンサーをつけて検査を行います





個室 差額室料はありません
検査は個室でおこないます

PSG検査の実施状況

2002年10月から2016年3月末まで

PSG検査数 634例

男性：430例 女性：204例

平均年齢：61.8歳

(男性：60.7歳、女性：63.9歳)

SAS診断例(AHI 5以上)：**599**例

* AHI：1時間あたりに発生する無呼吸・低呼吸の回数

SAS診断例の重症度

軽度(AHI 15未満)	133例
中等度(AHI 15~30)	207例
重度(AHI 30以上)	259例

※最大AHI:129.7

- 治療対象(AHI20以上)は、379例
- 軽度の133例中129例は、レム睡眠時には治療を要するAHI20以上を示していました。

睡眠時無呼吸症候群の治療

- **nasal CPAP療法**
- 歯科的口腔内装具
- 手術的治療
(口蓋垂軟口蓋咽頭形成術)
- 薬物療法
- 減量

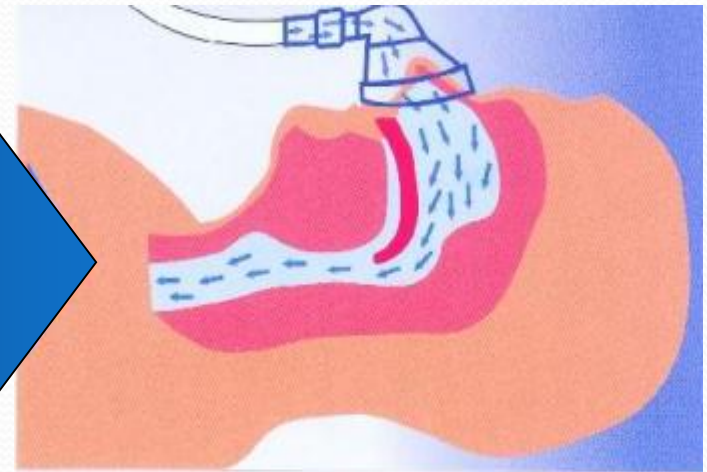
nCPAPの原理

閉塞型無呼吸症候群



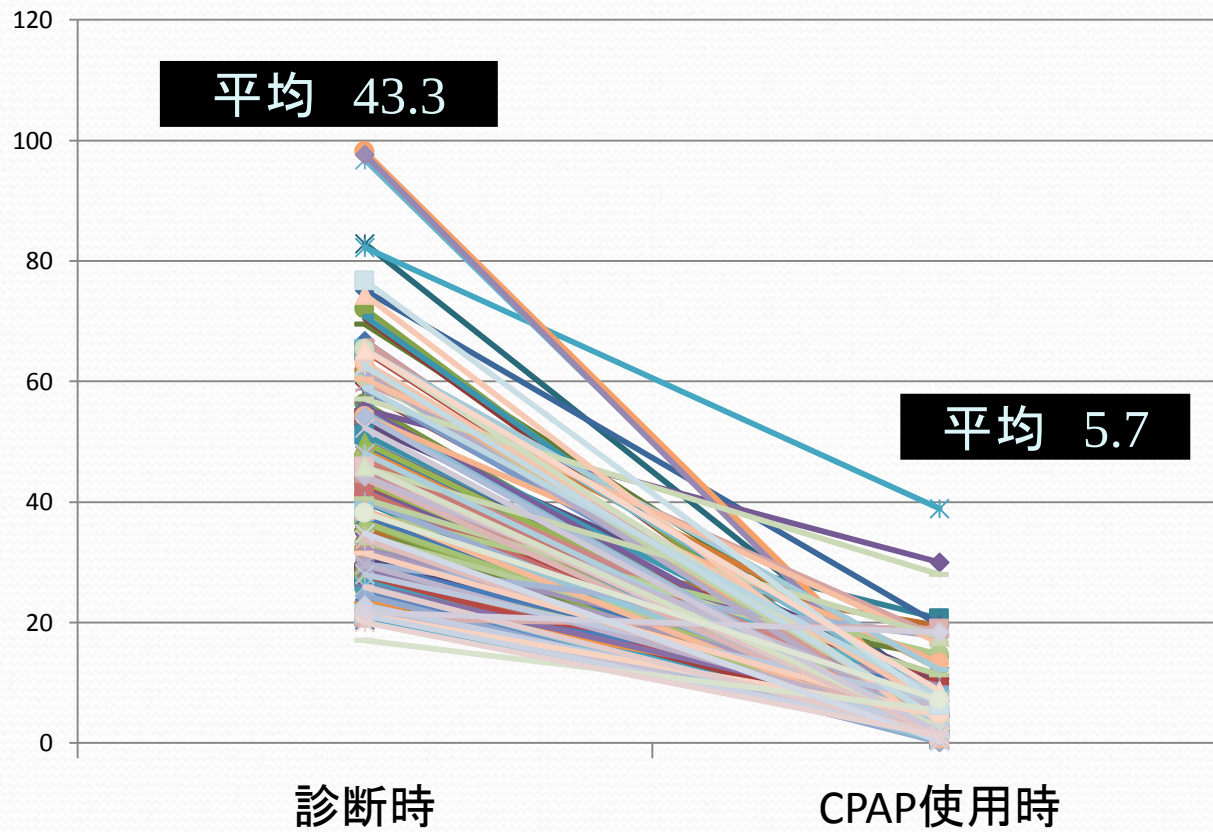
閉塞型睡眠時無呼吸症候群は、軟口蓋や舌根の沈下により気道が閉塞し、無呼吸が発生します。

nCPAP療法



nCPAPは鼻マスクを介して、一定の空気を送り込み、塞がっている上気道を広げ、開存を補助します。

nCPAP導入前後のAHIの変化



検査・入院費用

・PSG検査(1泊2日入院)

1割負担 : 約 9,400円

3割負担 : 約 28,000円

※上記金額は、PSG検査入院のみの場合です。

食事代・投薬料などの料金は含みません。

・簡易PSG検査(入院なしの場合)

1割負担 : 約 1,200円

3割負担 : 約 3,500円